



わかとりクラブ鳥取 ～とっとく県老連だより～

第30号

■会員数

■クラブ数

39,311人

818クラブ

平成26年4月現在

公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会
〒689-0201
住所 鳥取市伏野1729番地5
県立福祉人材研修センター内
TEL0857-59-6351 FAX0857-59-6340
<http://www.fuumon.sakura.ne.jp/>

高齢者のお話し相手をする
傾聴ボランティア活動
(境港市ことぶきクラブ連合会)



女性会による
花植え作業
(八頭町老連)



保育園で傘踊りを披露して
世代間交流
(江府町老連)

「引きぎわ」を考えていた時、止むなく会長を受けさせられました。この20年の間に平成の大合併がありましたが、県老連はあまり変わっていないような感じでした。強いて言うならば、法人化して“法”に縛られているように思います。

創立50周年を機に、いろんな事を見直してみることが必要ではな
いでしょうか。例えば、会員19人（市町村
数）に理事13人は適當か、理事・委員に会員の推薦枠はあるのかなど。皆さんの意見や提
言が欲しいと思います。大いに発言、提案して下さ
い。そのことが県老連の風通しを良くす
ることにつながると思
いますから。

〔提言なき所に、改善す
す。〕
「進歩なし」と県政改革に取り組まれた知事も
いました。私も「犬の遠吠え」にならないよ
うに、任期一杯努力し
ます。みたいと考えていま
す。



風通しの良い組織に

鳥取県老人クラブ連合会
会長 沖田博敬

県老連役員選任

(任期：平成28年定時総会終了時まで)

◆理事13名

会長 沖田博敬
副会長 門脇眞澄
副会長 山下宣昭
副会長 知久馬二三子
常務理事 小林裕幸
理事 木村定雄
理事 中林正樹
理事 青山寿子
理事 山本充延
理事 佐々木宏
理事 高塚勇
理事 相見正樹
監事 佐々木千代子
監事 滝内准太郎
監事 浜崎寿子
監事 藤原源市
監事 幸子

◆監理2名

鳥取県老連だより

鳥取県老人クラブ連合会

「創立50周年記念大会」開催

日時 平成26年11月20日 場所 倉吉未来中心 大ホール

老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主組織として、高齢者保健福祉の増進に寄与することを目的に結成され、鳥取県老人クラブ連合会は、老人クラブ相互の連絡を密にし、その育成強化を図るため昭和30年に創立され、今年で50周年を迎えた。



続き、老人クラブの育成発展に献身的な尽力をされた11名の方に対して、感謝状の贈呈が行われました。

記念講演では、三徳山三佛寺の

米田良中住職が「一隅を照らす此れ即ち国宝なり」と題してお話をされました。

午後からはクラブ会員3名によつ

て「これからまでの歴史

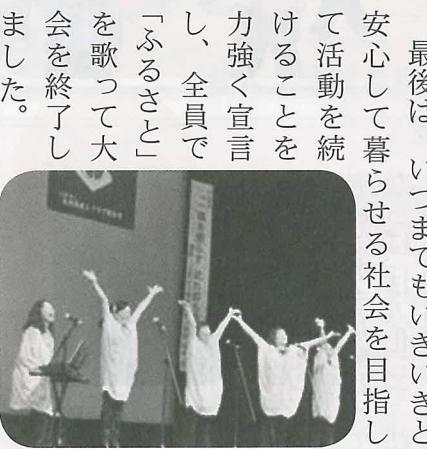
を振り返ることともに、新たな一步

を誓う機会

として大会が開催され、県内各地から約650人の参加がありました。

午前中に行われた開会式では、沖田会長のあいさつ、来賓祝辞に

ありました。



芸能発表の後は、県内外で活躍されているゴスペルオーブによるアトラクションが行われ、美しく、力強い歌声とパフォーマンスで、会場と一体になつて参加者を喜ばせていました。

最後は、いつまでもいきいきと安心して暮らせる社会を目指して活動を続けることを力強く宣言し、全員で「ふるさと」とともに共通していたのは、会員減少への危機感でした。



り、会員を増やすことなくして老人クラブの発展はなった。続けて、7

地域の団体による文化活動発表が行われました。

続いて、7

彰者名簿、開催した研修会の概要等が掲載されている50

年の歴史が詰まつた一冊です。

市町村老連のあゆみや表彰者名簿、開催した研修会の概要等が掲載されている50年の歴史が詰まつた一冊です。

業の一環として、記念誌を発行しました。

県老連50周年記念誌 発行ご案内



【頒価】 一冊千円
【注文・問合せ先】

所属の市町村老人クラブ連合会または鳥取県老人クラブ連合会

仲間をふやそう

「同世代の人に声かけ
「仲間増やし活動」の実践」

鳥取市老連 理事

(若手副委員長) 平尾 昭一

私たちには、地区老人クラブの執行部・理事・会員が一丸となり、新規加入促進活動を行いました。勧誘時には、なるべく同世代の人間に声をかけてもらいます。齢が離れた方を誘つても断られます。それは、考え方、活動内容が乖離するからです。その点、同世代の人なら、一緒に活動もでき、安心できるという理由で入会される方が多いです。活動内容については、同年代の人達と一緒にやりたい活動を逆提案してもらい、納得して入つてもらっています。声掛けという地味な方法ですが、小学校などの、孫つなぎで声をかけるのも効果的です。もちろん、飲みニケーションも大事かと思います。(お金が要りますが)

声掛けの方法、タイミング等あります、声掛けが一番の方法のよう思います。加入促進活動の必要性、想いを理解していただき、協力してもらった方には感謝の気持ちと敬意を表しながら、これからもずっと続けて、新会員をどんどん増やしていきたいのです。

年5人以上の新会員
「地域支え合いで加入へ」

境港市財ノ木ことぶきクラブ
会長 尾崎 満

当クラブは、日ごろのサロン活動を通じて情報交換を行い、困つ



絵を書いてふれあい交流（サロンにて）



サロンで楽しいレクリエーション

年5人以上の新会員 「地域支え合いで加入へ」

境港市財ノ木ことぶきクラブ
会長 尾崎 満

当クラブは、日ごろのサロン活動を通じて情報交換を行い、困つ

知人が入れ替わり勧誘するなどし、平成23年度59名だった会員が平成25年度には83名となり、大きな成果をあげました。
若い世代へのバトンタッチがスマーズに行えるよう努力しています。

若手会員活躍の場づくり
「新規加入促進に向けて」

岩美町老連 会長 日下部武志

本町老人クラブ連合会の若手委員会は、平成24年4月に発足以来、事業も徐々に機動に乗り、改めて委員会の必要性を再認識しております。

今年度は岩美町老人クラブ連合会創立50周年に当たり、若手委員会の企画・運営で行っている健康ウォーキング大会を記念大会として、会員はもとより多くの高齢者の参加を得て盛大に行う事ができました。

全国的に会員数や加入率が減少する中、本町老ク連では女性部、若手委員会と連携を図りながら、特に同世代の未加入者への呼び掛けにより、毎年連合で35名以上の新規加入者がある反面、死亡等の自然減もあり、会員数は1,500名前後で推移しています。今後も若手会員の

活躍の場づくりを進めることにより、新規会員の加入促進に注力していきたいと思います。

65歳まで見習い期間
「環境づくりを重点に」

八頭町老連 郡家支部 副会長 中村 元紀



お宮掃除

活躍の場づくりを進めることにより、新規会員の加入促進に注力していきたいと思います。
65歳まで見習い期間
「環境づくりを重点に」

活躍の場づくりを進めることにより、新規会員の加入促進に注力していきたいと思います。
65歳まで見習い期間
「環境づくりを重点に」

—鳥取県老連だより—



掃除の休憩を利用して駐在から特殊詐欺の話を聞く会員

那岐地区福寿会連合会
会長 矢部 政信
会員数127名、かけ声一つで60
～70名の会員が、神社、お寺、旧小
学校のグラウンド、JR那岐駅(無

智頭町老連
若い頃は、じげの油
そして今も、じげのあぶら
（高齢化率36%、今後ますます高
齢化が進むと思われるなかで、老
人車を杖に、杖なしで元気に歩け
る長寿社会に努めていきます。）



春のぼけ防止研修会

日吉津村老連
松栄クラブ会長 高塚 勇
那岐地区福寿会連合会
会長 矢部 政信
会員数127名、かけ声一つで60
～70名の会員が、神社、お寺、旧小
学校のグラウンド、JR那岐駅(無

クラブの活動をPR
リストアップして勧誘！



健康教室の準備体操

60歳からの仲間作り
一緒にシルバーライフを楽しみましょう
地域のアーバンな活動や趣味の人との交流を通じて、先例に
い早いと感じたための活動をしています。
60歳以上の方などどなたでも加入できます。

松栄クラブの専門活動
4月花見、秋の食事会、講習、
地域活動への参加、ほか
村毛人クラブの活動の紹介
(会員会員も入会可)

図表: 村毛人クラブの構成図



鳥取市観音院庭園にて春の研修会

二ユースボーツ等の健康づくり活動をPRしています。3月20日頃までに新規会員を集め、3月末の総会の会員名簿に新しく新会員を皆さんに紹介します。

地域支え合いと加入促進
「誰でもできる手助け」

北栄町老連 副会長 藤井 昭弘

北栄町老連は「地域支え合い活動」を課題に、先進地視察や研修会、アンケート調査を行い、高齢者が「地域で安全安心な生活」ができる方策の検討を重ねました。アンケートでは、「ごみ出し、話し相手（相談）、雪かき、除草、家具移動、買い物支援」等、誰でもできる手助けで不安と不便が軽減されることがわかりました。

支え合いは行政、自治会、ボランティア等の活動だけでは、今後増える高齢者を支えることは困難だと思います。

今こそ、クラブ会員が地域で共に過ごしてきた仲間との強い繋がりを活かして、顔を見ながら寄り添う温かいコミュニケーションを上げる時だと思います。

今後の「地域支え合い活動」の推進と、「担い手となる若手会員の加入促進」を車の両輪として、取り組んでいきたいと思います。

楽しめて気軽に行事

「広報紙を

全戸配布し勧誘」

南部町老連

会長 安達 幸男

我がクラブでもこの10年間
会員の減少、休止クラブがあり、
憂慮すべき事となつています。

そこで、次のようなことを実施し加入促進に努めています。

一、役員によつて声掛ける。
二、会員が趣味を通じて声掛け
る。
三、魅力ある行事を実施し参加
を呼び掛ける。

①芸能大会②健康講座

③ウォークイング大会

④地区別運動会

⑤グラウンド・ゴルフ大会

広報紙を全戸配布して、楽しいクラブをアピールする事により、関心を持つていただきました。

年間1回の参加でもと、声掛けに努めるようにしています。楽しめて気軽な行事を数多く実施することは、参加者を増やし会員増に繋がると信じて実施しています。

地域での存在意義

伯耆町老連

会長 濑山 正八郎

全国老人クラブ連合会の会員増強運動に、伯耆町老連としても努力しますが、私はキーワードは、「老人クラブ活動が

地域で認知されているか」に左右されると思います。

今60代の皆さんには、組織に縛られることを嫌う。老人と呼ばれることに嫌惡する。しかし、ボランティア活動には関心を持っています。単位クラブで支え合い活動に熱心に取り組んでいるクラブは、高い評価を得て、活動を手伝いたいとクラブに入会する人も少しずつ出てきています。いかに地域に貢献し、社会的価値を高めるかが問題です。

活動活性化助成事業について

鳥取県老人クラブ連合会

鳥取県老人クラブ連合会は、県老連の基盤強化のためクラブ会員の皆様からの拠出金により設置された基金の運用益を財源として、老人クラブの活動に対する助成をしております。

助成対象となる事業は、地域の実情に応じて創意工夫された「健康づくり・介護予防活動」

に該当する事業①「地域支え合い活動」に関する事業

②「新規会員・クラブ増設」に関する事業

③「会員加入促進活動」に関する事業

④「新規会員・クラブ増設」に関する事業

規格クラブ設置に関する事業で、平成26年度においては、別表のとおり申請があり、基金管理運営委員会で審議された結果、申請どおり助成されることとなりました。

なお、平成27年度からは、会員増強・加入促進運動を促進する

観点から、④の事業のうち新規加入会員の助成については、単位クラブとして5人以上の会員増となる場合は5,000円を上乗せ助成するよう見直しが検討されております。

これに伴い、④の事業の助成

過措置として、平成27年度の助成対象期間は、平成26年度の助成対象期間を4月1日から翌年3月31日まで(現行11月1日から翌年10月31日まで)に改正し、経過措置として、平成27年度の助成対象期間は、平成26年11月1日から翌年3月31日の予定です。

伯耆町の取り組みが
月間全老連2月号で
紹介されました。



市町村名

実施した事業

①

②

③

左への助成額

④新規会員・クラブ増設

会員増クラブ

新規設置クラブ

左への助成額

市町村名	実施した事業			左への助成額	④新規会員・クラブ増設		左への助成額
	①	②	③		会員増クラブ	新規設置クラブ	
鳥取市		○	○	55,000	40	0	200,000
米子市					15	0	75,000
倉吉市							
境港市		○	○	45,000	7		35,000
岩美町		○		30,000	9		45,000
八頭町					5		25,000
若桜町			○	30,000			
智頭町	○		○	45,000	1		5,000
湯梨浜町					2	1	20,000
三朝町					5	1	35,000
北栄町					5	1	35,000
琴浦町							
南部町	○	○		45,000	3		15,000
伯耆町		○		30,000	5		25,000
日吉津村	○			30,000	1		5,000
大山町							
日南町	○	○		45,000	3		15,000
日野町							
江府町	○	○		45,000	2		10,000
計	5事業	5事業	6事業	400,000	103クラブ	3クラブ	545,000

「若手委員会活動について」

△加入促進への役割△

県老連若手委員会
委員長 山本 充延

平成26年11月20日に倉吉未来
を中心にて創立50周年記念大会が
行われました。諸先輩方の活発
な活動で、大きな組織となり素
晴らしい成果を上げてこられた
ことを改めて認識させていただ
きました。



若手委員が一堂に会して加入促進の対策を考える場が必要と考えます。27年度は、東・中・西部3ブロックで若手委員会を開催し全市町村が登録されることを目標とします。未登録の連合会にも呼びかけを行い、登録に向けて取り組んでまいります。

に参加させていただき各県の力強い活動内容を聞きました。印象的だつたのは、高齢化率の高い市町村ほど自治会との強い結びつきのある活動を行つてゐることでした。自治会活動に老人クラブの果たす役割は非常に大きなものでした。老人クラブの加入率アップが自治

現在、どの市町村連合会も単老も、会員の高齢化と若い会員の加入が少ない事が大きな問題点です。若手委員会は、新規会員加入促進の中心的役割として取り組まなければなりません。しかし、若手委員会が県に登録されていらない連合会があります。それぞれご事情は異なると思いますが、

また、若手委員、女性委員、一般会員合同交流会（一泊研修）も提案させていただきます。他の地区や単老の活動内容も知ることも

村若手委員が一堂に会する若手委員会を開催し、それぞれの問題点や取り組みを出し合い新規会員加入促進のアイデアをまとめます。結果として、県の目標である二〇二〇年までに八千人の新規会員加入目標達成することが可能になると考えます。

加入促進

百人が話し合った実践方策 ～女性リーダー研修会～

県老連女性委員会

卷之三

高齢者人口が、今後さらに見込まれる中で、老人クラブのクラブ数・会員数は、減少を続けています。県老連では、市町村老連と連携しながら愛称の制定、会員増への助成など加入促進策を講じてきましたが、有効な歯止めがない現状です。

そこで今回の研修は、加入促進をテーマに、KJ法により課題解決の方策を探ることにしました。約1時間全員がテーマと向き合い話し合いを進めました。

ねばりづよく「声かけ」
声かけの効果をあげるために

百人が話し合った実践方策 ～女性リーダー研修会～

笑顔あふれる活動を
楽しいクラブづくりは、声か
けと表裏一体のもので、活動内
容の P R
(チラシの作
成、行事や
旅行等)

人の意見をよく聞くこと、個人の趣味や特技を活かす活動も大事との意見もありました。役員の高齢化による、消滅クラブが生まれるなかで、意気込みのある女性を妨げる雰囲気があり、消極的といわれる女性と共に男性の意識改革を訴える意見が注目されました。

今回の研修が、女性リーダーにとつて、加入促進の取り組みに向けて、一步でも前進する契機となることを願っています。

A person is standing at a whiteboard, writing on it with a marker. The whiteboard has the words "SOCIAL COMMUNITY" written at the top. Below this, there is a grid or diagram consisting of several small squares arranged in a pattern. The person is pointing towards the board while writing.

だれが、誰に、いつ、どこで、声のかけ方などの細かいアイデアや、日頃の関係づくりの大切さ、ねばりづよく誘う。地区の集まりを活用しての協力依頼などが提案されました。

